

知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより
2009年9月

第31号



本を読む人シリーズ(31)

古今東西の本を 読む人を紹介するシリーズです。

上村松園「長夜」(『カンヴァス日本の名画9』中央公論社1978)

[7208/4/9]

■ トピックス

▼ 展示コーナー

10月22日(木)から「アカデミー賞受賞作品映画」に関連したテーマで所蔵資料を展示する予定です。

▼ 催し物のご案内

11月28日(土)午後1時30分から、文学講座を開催します。『九十九里の文化・文学・町おしー中西月華と仲間たちの明治・大正・昭和一』と題して、鶴巻孝雄氏(東京成徳大学教授)にご講演をいただきます。

入場無料、定員70名です。事前申込は、11月1日(日)から受け付けます。電話又は来館によりお申し込みください。皆様の参加をお待ちしています。

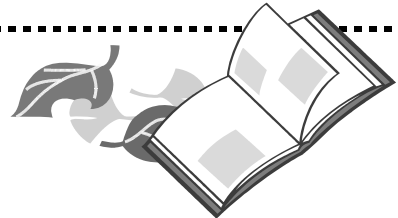
▼ 県立図書館の休館のお知らせ

10月13日(火)から21日(水)まで、特別整理期間のため休館します。
休館中でも県立図書館の資料は、市町村立図書館等を通じて利用できます。

♪ 秋の読書週間 ♪

毎年、文化の日の前後1週間、10月27日から11月9日まで、「秋の読書週間」です。

「読書週間」は、読書の普及と出版文化の発展を願って、昭和22年に始まりました。秋のこの時期は、15℃くらいまで下がる気温が脳の働きを活発にするといわれ、読書の能力が向上するようです。秋の夜長に、是非、1冊を！！



ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

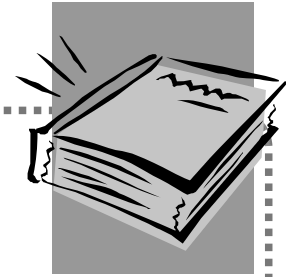
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます→





参考図書カフェ (6)



『日中韓常用色名小事典』

日本ファッション協会／監修

日本色彩研究所／編著 クレオ 2007 請求記号[7573/51]

今回紹介する『日中韓常用色名小事典』は、現代の日本、中国、韓国の人々が普段使用している色名と、それぞれの色名が表す色や色名の由来、イメージなどを解説したものです。日中韓1,336名の大学生に各自が知っている色名を記述してもらった結果を参考にして、日常的に使用頻度が高い日本167語、中国205語、韓国198語の色名が収録されています。

色名は、時代や社会が属す文化を反映して作られるため、文化索引の一つとみることもできるようで、色名を通して日中韓という同じアジア3国の類似、相違を知ることができます。

本書によると、日本の色名は桜色、菫色、藍色など植物や植物染料に由来するものが多いということです。また、選定された日本167語のうち90語がアイボリー等の外来色名で、外来語も日本語のように取り込んでしまうのも日本の特徴です。一方、中国は動物由来の伝統色名が多く、グレイ系の色名をみても「水牛の灰色」「イカの灰色」「もぐらの灰色」等多数あります。韓国の伝統的な色名は、光沢の違いや材料や素材感、その色から受ける印象も表現されており、対象や印象を明確にすることをよとする文化を窺うことができるそうです。

東部図書館では『日中韓常用色名小事典』のほか色彩を解説した資料を多数所蔵していますので、自然が様々な色に彩られる季節、本の中の色彩も楽しんではいかがでしょうか。

※参考図書は、より多くの方が利用できるように東部図書館では個人貸出はしていませんので、図書館内でご利用ください。

☆関連一般図書☆

『花の色図鑑 和の花色・洋の花色・中国の花色』

福田邦夫／著 講談社 2007 請求記号[7573/48] ※貸出可



植物に由来する和・洋・中国の色名を紹介しています。日本ではりんごというと赤をイメージしますが、本書によると英語では青りんごの「アップルグリーン」が伝統的な色名だということです。

『色 世界の染料・顔料・画材』

アンヌ・ヴァリション／著 マール社 2009 請求記号[7573/57] ※貸出可

染料や顔料等を中心に様々な時代と地域における色のとらえ方の変遷を追い、民族と色の文化史を解説しています。

レファレンスあれこれ (30)

資料に関する調査・相談にお答えしています。過去に寄せられたご相談の事例を紹介します。

ギリシア語の「エロス」の意味の変遷について知りたい

【質問内容】

ギリシア語「エロス」の意味の変遷（ギリシア語から発し、フロイトらが使用するに至るまでの経過）をできるだけ詳しく知りたい。

【調査経過】

- ① まず、『日本大百科全書3』（小学館 1995）、『世界大百科事典 25』（平凡社 2007）で「エロス」を引くと意味など若干の記載があった。
- ② 「フロイト」ということで『心理学辞典』（丸善 2004）を引き、p 74 “エロス”の項に「フロイト著作集第6巻 p150～194」「フロイト著作集第9巻 p156～209」に記述のあることを確認。
- ③ 他にも、「エロス」や「社会学」をキーワードに資料検索をした。『人はなぜ戦争をするのか エロスとタナトス』（光文社）の p308～309, p328、『フロイト 無意識の世界への探検』（大月書店）p163～164に関連事項の記載が確認された。また、『岩波講座現代社会学8「文学と芸術の社会学」』（岩波書店）p29にも記載があった。
- ④ インターネットでも「ギリシア哲学 アイデア エロス」と検索。「東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員 松浦明宏氏」のホームページ『哲学講義19』にギリシア神話に出てくる「エロス」という言葉がヒットした。内容を調べてみると「美のアイデアとエロス」の中に関連事項の記載があった。

【提供資料】 [] 内は請求記号です。

- 『フロイト著作集 第6巻』（人文書院 1977） [1461/68/6]
『フロイト著作集 第9巻』（人文書院 1983） [1461/68/9]
『人はなぜ戦争をするのか エロスとタナトス』（光文社 2008） [14613/23]
『フロイト 無意識の世界への探検』（大月書店 2008） [14613/24]
『岩波講座現代社会学8「文学と芸術の社会学」』（岩波書店 1996） [36108/1/8]

●担当者のコメント●

言葉の由来を調べるときは、まず百科事典等で調べるとその意味やジャンルが分かり、手がかりが広がります。そして、見つけた言葉をキーワードとして検索すると関係資料が見つかりやすいです。

名作映画鑑賞会のご案内

毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。（入場無料）
どうぞ足をお運びください。



開場：午後1時15分～ 映画上映：午後1時30分～
場所：東部図書館3階 研修室

※来館又は電話でお申し込みください。

- ★ 9月19日（土） 『西部戦線異状なし』
監督：リュイス・マイルストーン／主演：ルイ・ウォルハイム
(1930年 アメリカ モノクロ 129分)
- ★ 10月24日（土） 『会議は踊る』
監督：エリック・シャレル／主演：リリアン・ハーヴェイ
(1931年 ドイツ モノクロ 97分)
- ★ 11月21日（土） 『赤い砂漠』
監督：ミケランジェロ・アントニオーニ／主演：モニカ・ヴィッティ
(1964年 イタリア カラー 115分)

図書館の達人

<調べ方案内4> (オンラインデータベースを使う ① 『毎日Newsパック』)

県立図書館では、調べ物をするときに便利なオンラインデータベースが利用できます。今回は、以下の内容が検索できる新聞記事データベース『毎日 News パック』を紹介します。

● 毎日新聞記事データベース

毎日新聞東京本社発行の朝夕刊最終版の全文をはじめ、大阪本社、西部本社、中部本社、北海道支社の記事、各都道府県の地方面の記事を収録しています。

・収録期間：1987年1月～

・検索項目：記事タイトル及び本文中の文字列フリーキーワード、掲載日付

(検索例：右画面)

キーワード：旭市

掲載日付：2009年5月～

上記条件で検索すると、
「私の八月十五日展」の記事が
2件検索できました。

(2009年8月4日現在)



● 週刊エコノミスト

毎日新聞社発行の週刊経済誌『エコノミスト』の全文記事及び誌面 PDF を収録しています。

・収録期間：2001年1月～

・検索項目：記事タイトル及び本文中の文字列

● 他にも以下のサービスがご利用いただけます。

・ニュース速報

・今日の新聞

・20世紀2001大事件

・過去紙面データベース

☆調査・相談カウンターの端末で、どなたでもご利用いただけます。

☆その他、過去の新聞記事は『毎日新聞』(マイクロフィルム、明治5年2月～平成17年12月)、『読売新聞』(CD-ROM、明治7年11月～昭和20年12月)でご覧いただけます。

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言・・・

暑い暑いと言いながらも、吹き行く風に秋の気配。食欲の秋？スポーツの秋？いえいえ、やっぱり秋は読書です。時にはゆっくり本の世界へ旅をするのもいかがでしょうか。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>